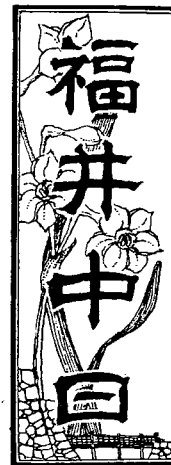


市民の手で法人化へ

武生の児童
養護施設

有志が募金活動



福井支社
福井市大手3
(〒910-0005)
0776 (22)0950
FAX 0776 (25)3178
(広告)(21)3590

敦賀支局
敦賀市三島町1
(〒914-0038)
0770 (23)2531
FAX 0770 (24)1456

武生通信局
武生市千福町21
0778 (22)5555
FAX 0778 (24)4755

小浜通信局
小浜市大手町4
0770 (52)0137
FAX 0770 (53)9004

大野通信部
0779 (66)2504
FAX 0779 (65)3182

丸岡通信部
0776 (66)0734
FAX 0776 (67)7850

三国通信部
0776 (82)0361

鯖江通信部
0778 (51)1811
FAX 0778 (54)9050

勝山通信部
0779 (88)0591
FAX 0779 (87)1893

ニュースは
上の電話へ
読者センター
052(221)0800

全国的に公立の児童養護施設が少なくなる中、武生市立「進修学園」を市民の手によって社会福祉法人化する動きが活発化している。法人化に必要な約一千万円の基本財産を確保するため市民有志が「市民里親応援団」を結成。来年四月からの運営開始を目指すための活動を展開する。

(村瀬 力)

進修学園は一九四〇年に託児施設として開所。四六年に市に移管され、四八年に児童養護施設の認可を受け、六四年に現在地に移転した。現在、二歳から十八歳までの三十四人が生活し、学校に通っている。職員は隣接の児童家庭支援センターを含めて二十

市民里親応援団
=児童養護施設運営法人設立準備会協働団体=

施設の沿革と新社会福祉法人による施設運営への思い

【今後のスケジュール】
2005年3月 施設運営開始
2005年9月 施設運営開始
2006年1月 施設運営開始
2006年4月 施設運営開始

募金活動に
会員募金 一口 10

募金活動にご協力
面の登録用紙

市民の自主的な活動＝市民里親応援団＝が、一歩前進していくことを目指して

※ 今回ご協力いただいた皆様には、市民里親応援団員として登録
以後10年間、施設の活動経緯を掲載した機関紙をお
なご市民里親応援団に送られた募金は、
すべて児童養護施設を運営するために創設された
「社会福祉法人設立準備会」

来年4月からの運営目指す

市民の手による社会福祉法人
化の動きが出ている武生市立
進修学園＝同市芝原一丁目で



五人いるが、うち十四人は臨時職員に頼っている。

市の児童自立支援プログラム策定メンバーを中心に昨年六月、NPO法人自立支援ネットを設立。同学園についても重要課題として検討し、既存の社会福祉法人などに移管せず「市民が支援する運営形態にしよう」との機運が高まった。

昨年十月、学園職員やOBらが独立した事業体による運営を目指す「市民が支援する運営形態にしよう」との機運が高まった。

児童養護施設 乳児を除き、保護者のいない児童や虐待されている児童、環境上養護が必要な18歳以下の子供の養護、自立の支援を目的とする施設。全国に約550、県内には5施設ある。費用は国からの措置費などで賄っている。行政改革のありを受け、公立は年々減少。全国的には社会福祉法人による運営が多くなっている。

市民の手による社会福祉法人化の動きが出ている武生市立進修学園＝同市芝原一丁目で

営を市に提案。三木勲男市長が三月議会の施政方針で来年四月から新しい社会福祉法人での運営方針を示した。

法人の設立準備会の役割を果たす「市民応援団」は学園の職員や卒園生、地区住民ら十四人の委員で二月末に発足した。法人設立に必要な一千万円を集めるための募金活動を六月末まで展開。来年一月の法人化、四月からの運営開始を目指す。

施設の老朽化や責任の所在の明確化など課題もあるが、応援団の谷口和正団長（法人設立準備会長）は「柔軟な対応や健全な運営に心掛け、さらにより施設にしたい」と意気込んでいる。